

## 本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
<b>2025年</b>			
1月 25日(土)	第12回日本水環境学会東北支部研究発表会	宮城	本号
31日(金)	2024年度日本水環境学会関東支部イベント 水環境分野で活躍する仲間たちの仕事や働きぶり紹介	オンライン	本号
2月 18日(火)	第70回日本水環境学会セミナー 今, ネイチャーポジティブを考える	オンライン	本号
3月 17日(月)~19日(水)	第59回日本水環境学会年会	札幌	本号
17日(月)	第59回日本水環境学会年会併設 Japan-YWP セミナー 「若手で考える上下水道の防災と災害復興」	札幌, オンライン	本号
19日(水)	第59回日本水環境学会年会併設全国環境研協議会研究集会	札幌	本号
5月 27日(火)	第37回環境工学連合講演会 「先進サステナブル社会における環境工学の役割」	東京	
6月 25日(水)~26日(木)	第30回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会	京都	本号
7月 5日(土)~6日(日) 【開催日程変更】	WET2025 (Water and Environment Technology Conference 2025)	新潟	
9月 17日(水)~19日(金)	第28回日本水環境学会シンポジウム	富山	
10月 20日(月)~24日(金)	10th IWA-ASPIRE Conference	ニュージーランド	本号
<b>2026年</b>			
3月 9日(月)~11日(水)	第60回日本水環境学会年会	東京	

### 第59回日本水環境学会年会への発表・参加申し込みを予定される方へ（入会案内）

2025年3月17日(月)~19日(水)に北海道札幌市にて第59回日本水環境学会年会が開催されます。

年会参加につきましては、2025年2月13日(木)までに入会申し込み手続きを済ませ、会員番号を取得していただければ会員価格でご参加いただけます。

学生会員は1年ごとの資格ですので、昨年度の会員の方も改めて入会申請が必要です。

入会案内 URL : <https://www.jswe.or.jp/joining/index.html>

なお、発表者も別途参加申請が必要です。

## 「水環境学会誌」原著論文編 発刊頻度の変更について

日本水環境学会では「水環境学会誌」の競争力向上を目的として、原著論文のJ-STAGE上でのオンライン公開をより迅速化するため、「水環境学会誌」原著論文編の号を2025年1月から廃止しました。これまで受理後の論文公開は年に6回（奇数月）に限定されており、受理されてからも論文掲載までに時間を要していましたが、今後は受理された論文は出版準備が完了したもから順次オンライン公開されます。また、この変更に伴い、これまで12月号として年1回お届けしていた原著論文編再録は、翌年2月号に掲載します。

なお、これまでと同様、冊子体の「水環境学会誌」特集企画編は月刊として皆様のお手元にお届けし、奇数月の号には原著論文編要旨を収録いたします。引き続き、ご高覧いただければ幸いです。

今後とも、会員の皆様による「水環境学会誌」原著論文編への最新の研究成果の積極的な投稿をお待ちしております。

原著論文編集部部长 金田一 智規

編集委員長 大河内 由美子

### 本会関連行事

#### 第59回 日本水環境学会年会 参加申し込み案内

第59回日本水環境学会年会を次の要領で開催いたします。多数の参加申し込みをお待ちしております。

##### 1. 概要

内容 一般研究発表（口頭発表，ポスター発表）  
期日 2025年3月17日（月）～19日（水）3日間  
会場 北海道大学工学部（対面開催）

内容 一般研究発表（口頭発表とポスター発表）  
などが下記の要領で行われます。ポスター発表のコアタイムは17日と18日に分けて実施されます。年会優秀発表賞（クリタ賞）の審査対象の発表は18日，年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）の審査対象の発表は17日です。

3月17日（月）：口頭発表，ポスター発表，ライオン賞の発表と審査

3月18日（火）：口頭発表，ポスター発表，クリタ賞の発表と審査，水環境ビジネスガイダンス

特別講演，表彰式（水環境文化賞・みじん子賞・クリタ賞・ライオン賞・国際活動賞（いであ活動賞）・国際招聘賞（JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award））

3月19日（水）：口頭発表，会員企業・研究機関等就職説明会

#### 2. 年会参加申し込み案内

事前の参加申し込み（予約申し込み）が必要です。発表者も，別途，改めて参加申し込みが必要です。なお，発表申し込みやクリタ賞，ライオン賞の募集は終了しました。高校生以下の方は無料で見学・聴講が可能となりました。（事前予約が必要です。学会事務局，年会担当までお問い合わせください。）

##### (1) 申し込み方法

本会のホームページ（<https://www.jswe.or.jp/>）の「イベント」の「年会」にある『年会への参加のお申し込み』でお申し込みください。予約申し込みの期限は2025年2月25日（火）（送信有効）です。なお，インターネットによる予約申し込みについて不都合のある方は，学会事務局，年会担当までお問い合わせください。

##### (2) 年会参加費

		事前 申し込み	期限後 （当日） 申し込み	
（冊子版なし） 参加費	正会員（不課税）	6,500円	9,000円	
	学生会員（不課税）	3,000円	5,000円	
	非会員	一般（課税，税込み）	19,500円	22,000円
		学生（課税，税込み）	8,000円	10,000円
（冊子版有） 参加費	正会員（不課税）	9,500円	12,000円	
	学生会員（不課税）	6,000円	8,000円	
	非会員	一般（課税，税込み）	22,500円	25,000円
		学生（課税，税込み）	11,000円	13,000円
（課税・税込み） 懇親会費	正会員（税込み）	3,500円	5,000円	
	学生会員（税込み）	2,000円	3,000円	
	非会員	一般（税込み）	5,000円	6,000円
		学生（税込み）	4,000円	5,000円

申し込み後に参加費を下記のいずれかの指定口座に送

金ください。振込み手数料はご負担ください。また、送金者名は申込時の名義と同じにし、公費等による支払いで送金者名が機関や機関代表者となる場合には、別途、ご連絡をお願いします。請求書が必要な場合は申込時にその旨および宛先、送付先をご記入ください。

2025年2月28日(金)までにご送金を確認できない場合は予約申し込みがキャンセルになります。ご入金確認までに郵便振替(ゆうちょ銀行への送金含む)は2~7日、三菱UFJ銀行への振込は1~3日かかります。

#### 銀行口座

三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店 普通預金

口座番号：4948527

名義：公益社団法人日本水環境学会

名義カナ：シヤ)ニホンミズカンキョウガツカイ

#### 振替口座(ゆうちょ銀行)

口座番号：00180-5-564127

加入者名：公益社団法人日本水環境学会

### (3) 講演集の電子化について

2015年度(第50回)から、日本水環境学会年会の講演集は電子ファイル(ダウンロード方式)版が標準になりました。追加料金での冊子版講演集のご提供も予定していますが、印刷数には限りがあります。講演集の公開日(発行日)は年会開催日の1週間前を予定しています。

### (4) 参加証/講演集引換券の送付

ご入金の確認についてはE-mailにてお知らせします。そのE-mailに講演集ダウンロードのためのIDとパスワードが記載されています。冊子版の講演集を希望された方には現地でお渡しします。

### 3. 発表される方へ

口頭発表およびポスター発表のいずれも講演集の原稿(講演要旨原稿)を作成していただきます。原稿書式はホームページ<http://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html>をご参照ください。執筆要領、執筆例、テンプレートを掲載しています。執筆要領を改訂しています。最新版をご参照ください。

言語については、発表申込、講演要旨、発表を同じにしてください。つまり、日本語で発表申込を行った場合は講演要旨と発表も日本語に、英語で発表申込を行った場合は講演要旨と発表も英語にしてください。講演集原稿の題目、発表者名は申し込み時と同じにしてください。

共同発表者の記載漏れ、氏名(フリガナ、漢字)の間違いについても十分ご注意ください。

言語、題目、発表者名等に間違い等があった場合には、発表受付番号と登壇者氏名を明記の上、nenkai@jswe.or.jp(@は半角)に速やかにご連絡ください。講演集原稿の内容が申し込み時と異なる場合には、発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

**作成方法** 原稿枚数はA4判1枚(図表も含む)とします。ファイルサイズの上限は800KBです。

**提出方法** 学会ホームページよりご提出ください。個人会員(会員専用ページ)：

(<https://www.jswe.or.jp/member/index.php>)

団体会員：

(<https://www.jswe.or.jp/member/Ctl-2-17.php>)

**提出期限** 2025年1月15日(水)アップロード完了を期限とします。以降は原稿を受け付けません。発表取りやめになります。

**著作権** 講演集に掲載された要旨の著作権は、本会に帰属します。

口頭発表は1演題につき発表10分、質疑応答5分を予定しています。ポスター発表はコアタイムでのポスター掲示と質疑です。一般ポスター発表コアタイムは、3月17日(月)または3月18日(火)のいずれか指定の日時(1日のみ)、クリタ賞の審査対象発表は3月18日(火)、ライオン賞の審査対象発表は3月17日(月)の指定の日時です。講演プログラムは学会ウェブサイトに掲載予定です。

登壇者(ポスター発表の代表発表者を含む)の変更は、事前にご連絡の上、共同発表者に限ります。年会学生ポスター発表賞の発表者については、変更のご連絡が遅れると発表自体をお断りすることがあります。

### 4. 研究集会について

年会会場での開催をご希望の場合は、2025年1月15日(水)までに下記にお問い合わせください。

#### 研究集会についての問い合わせ先

日本水環境学会第59回年会係

E-mail: nenkai@jswe.or.jp (@は半角)

### 5. 特別講演のご案内

下記の特別講演会を予定しています。

**日時** 2025年3月18日(火) 15:15~16:15(予定)

**講師** 有賀 望氏(札幌市豊平川さけ科学館学芸員、札幌ワイルドサーモンプロジェクト共同代表)

**題目** 大都市のサケと水との関係

**会場** 年会会場(北海道大学工学部オープンホール)

**参加費** 無料(日本水環境学会年会の参加登録がない場合でも参加可能です。)

### 6. 託児室の設置

年会会場内に託児室(無料)の手配を予定しています。2025年2月19日(水)までにお申し込みください。締め切り日以降のお申し込みには対応できませんのでご了承ください。

#### お問い合わせ・申し込み

E-mail: takuji@jswe.or.jp (@は半角)

### 7. 懇親会

立食形式での開催を予定しています。

**日時** 2025年3月18日(火) 18:30~20:00(予定)

場 所 北海道大学 北部食堂

参加費および詳細は1月号以降の学会誌会告および本会HPに掲載予定です。

#### 8. 各種セミナーなど

下記の学会主催セミナーが予定されています。

学生向けランチョンセミナー「水環境ビジネスガイダンス」(産官学協力委員会・男女共同参画推進委員会共催)

日 時 2025年3月18日(火) 12:20~13:25

会 場 年会会場(特別会場:オープンホール)

定 員 100名(先着順, 予定)

参加費 無料(お弁当, 飲み物付き)

申込方法 年会受付にて3月17日(月)より申し込みを受け付けます。受付時にチケットをお渡しします。

#### 9. 見学会「北広島市の上下水道施設」のご案内

日 時 2025年3月18日(火) 午後 年会会場発着  
見学先 アクア・バイオマスセンター北広島“あしる”(下水処理および下水汚泥・生ごみ・し尿浄化槽汚泥の混合処理によるたい肥化を行う北広島市下水道施設), 共栄調整槽(緊急遮断弁および応急給水栓を備えた北広島市水道施設, 北海道ボールパークFビレッジ隣接)

参加費 2,500円(事前予約), 3,500円(当日)

定 員 35名(先着順)

申込方法 3月3日(月)までに, 氏名, 所属, 連絡先(住所, 電話およびE-mail)を明記し, 件名に「見学会」と記載してE-mailでお申し込みください。

※参加には年会参加登録が必要です。見学会のみの参加はできません。

※事前予約の方には3月10日(月)までに受付確認メールを送信します。事前予約で定員に達しなかった場合のみ当日申し込みを受け付けます。

#### お問い合わせ・申し込み

E-mail: excursion@jsw.e.or.jp (@は半角)

#### 10. 年会参加証明書の発行について

継続技術者教育(CPD)の観点から, 要望に基づき年会参加証明書を発行します。年会参加証明書の発行を希望される方は, 開始時と終了時に受付においてその旨を申し出てください。後日の発行はできません。

#### 11. 学生向け会員企業・研究機関等就職説明会

年会3日目(2025年3月19日(水))に日本水環境学会の団体会員である企業・研究機関等による学生向けの就職説明会を開催予定です。

詳細は学会ウェブサイトに掲載予定です。

#### 12. お問い合わせ先

(公社)日本水環境学会年会係

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

Tel: 03-3632-5351

E-mail: nenkai@jsw.e.or.jp (@は半角)

## 第59回 日本水環境学会年会併設

### 1. Japan-YWP セミナー

「若手で考える上下水道の防災と災害復興」

主 催 Japan-YWP

期 日 2025年3月17日(月) 17:00~18:00

場 所 対面方式およびZoomを用いたWeb会議システムにて開催

プログラム IWA日本国内委員会の下部組織として, 産官学の水分野の若手の連携を促進することを目的とする本会では, 第59回日本水環境学会年会にて表記セミナーを開催する。セミナーでは, 令和6年1月に発生した能登半島地震および9月に発生した豪雨からの復興に携わっている若手職員をゲスト講師としてお呼びし, 話題提供をいただいた後, 参加者も交えて上下水道の防災と災害復興について議論を行う。

参加申し込み方法 現地参加の場合は申し込み不要・オンライン参加の場合は後日Japan YWP HP (<http://www.japan-ywp.site>)に記載

参加申込締切 2025年3月14日(金)

参加費 無料

詳細 URL <http://www.japan-ywp.site>

#### 問い合わせ先

Japan-YWP 運営委員 渡利高大(長岡技術科学大学)

Tel: 0258-47-9642

E-mail: watari@vos.nagaokaut.ac.jp

### 2. 全国環境研協議会研究集会

第59回日本水環境学会年会において, 水環境分野の行政施策や調査研究の一層の充実を図るため研究集会を開催します。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

主 催 全国環境研協議会

日 時 2025年3月19日(水) 午前

場 所 第59回年会会場

対 象 全国環境研協議会会員機関関係者および第59回日本水環境学会年会参加者

内 容 第1部 特別講演

第2部 一般発表

(全国環境研協議会会員による発表)

参加費 無料(年会参加者以外は事前参加申し込み必要)

#### 問い合わせ先

全国環境研協議会企画部会事務局

東京都環境科学研究所 研究調整課

E-mail: kenkyuchousei-k@tokyokankyo.jp

## 第70回 日本水環境学会セミナー 今, ネイチャーポジティブを考える

2021年10月に開催された国連生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)第1部の閣僚級会合の成果として, ネイチャーポジティブの考え方が取り入れられた「昆明

宣言」が発表され、翌年のCOP15（カナダ・モントリオール）では2030年までに達成すべき新たな世界目標として「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択されました。この枠組みでは2030年のミッションとして「生物多様性の損失を止め、反転させ、回復軌道に乗せるための緊急の行動をとる」ことが掲げられ、ネイチャーポジティブの実現が、世界共通の目標として認識されることとなりました。2030年までに陸と海の30%以上を保全するといった具体的な目標「30by30」も定められ、生物多様性の回復に向けた取り組みが本格化しはじめています。今回の日本水環境学会セミナーでは、ネイチャーポジティブの実現に向けた政策や国際的な取り組み、生物多様性保全に関する最新の研究動向、ウェルビーイングに対する生物多様性・自然資本・グリーンインフラの貢献度や仕組みの評価などを幅広くご紹介いただきます。

**主催** 日本水環境学会

**後援** 全国環境研協議会

**日時** 2025年2月18日（火）13:00～17:00

**場所** オンライン（Zoom ウェビナー）

**参加費** 会員 3,000 円、非会員 5,000 円（税込）、大学生以下無料

#### プログラム

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～14:10 第1席 「ネイチャーポジティブに関する政策について」  
環境省自然環境局自然環境計画課  
課長 番匠克二

14:10～15:10 第2席 「ネイチャーポジティブと水環境研究」  
国立環境研究所気候変動適応センター  
副センター長 西廣 淳

15:10～15:20 休憩

15:20～16:00 第3席 「コンサルの立場からのネイチャーポジティブに向けた取り組みについて」  
いであ株式会社国土環境研究所環境技術部門地域共創推進部  
上席研究員 幸福 智

16:00～16:40 第4席 「水と生物多様性をつなげる、ネイチャーポジティブ経済に向けたビジネスイノベーション」  
PwC コンサルティング合同会社  
シニアマネージャ 服部 徹

16:40～16:55 総合討論

16:55～17:00 閉会挨拶

事前参加申込のみ（当日参加はできません）

**申し込み・入金締切** 2025年2月10日（月）

#### 申込方法

以下の登録フォーム、QRコードまたはE-mailのいずれかよりお申し込みください。

#### （登録方法1）推奨

登録フォーム：

<https://forms.gle/X8JQdcHmZY3wAj1U9>

登録QRコード：

右上QRコードから申し込みください。



#### （登録方法2）

E-mail：にて下記1～8を記載の上 seminar\_info@jswe.or.jp（@は半角）までお申し込みください。後日、URL等を記載した参加証（E-mail）をお送りいたします。

1. 参加者氏名
2. 氏名フリガナ（カタカナ）
3. 所属先名・学校名（学年もご記載ください）
4. メールアドレス（参加証（セミナー URL 等記載）の受け取り先）
5. 当日連絡可能な電話番号
6. 会員番号（個人・団体会員とも）をご記載ください。※非会員の方は「非会員」とご記載ください。大学生以下の方は「学生」とご記載ください。
7. セミナー参加証明書の発行希望有無（後日PDF送信）
8. 連絡事項、要望について（領収書の希望、宛名や送付先のご指定、郵送またはPDF希望など）

#### 詳細 URL

<https://www.jswe.or.jp/event/seminars/seminar.html>

#### 参加費振込先（振込手数料はご負担ください。）

三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店（普通）0754950

（公社）日本水環境学会セミナー口

シャ）ニホンミズカンキョウガツカイセミナーグチ

#### 参加証明書の発行について

継続技術者教育（CPD）の観点から、要望に基づきセミナー参加証明書を発行します。参加証明書の発行（PDF・後日メール送信）を希望される方は参加申込みの際に申し出てください。

#### 問い合わせ先

（公社）日本水環境学会 セミナー係

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel：03-3632-5351 Fax：03-3632-5352

E-mail：seminar\_info@jswe.or.jp（@は半角）

URL：https://www.jswe.or.jp/

### 第12回 日本水環境学会東北支部研究発表会

第12回日本水環境学会東北支部研究発表会は、会員と関連大学・関連機関との情報交換、発表技術の研鑽、学生の研究奨励を目的として、第16回廃棄物資源循環学会東北支部研究発表会と合同で下記の要領により開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

**主催** 日本水環境学会東北支部

**共催** 廃棄物資源循環学会東北支部

**期日** 2025年1月25日（土）

**場 所** 東北大学大学院環境科学研究科本館 2階大講義室, 1階展示スペース 2

**プログラム** 口頭発表セッションとポスター発表セッションを予定しています。

**参 加** 無料, 事前の参加登録不要

**詳細 URL** 最新の情報は日本水環境学会東北支部 HP をご確認ください。(http://jswetohoku.web.fc2.com/)

**問い合わせ先**

北條俊昌 (東北工業大学工学部都市マネジメント学科)  
Tel : 022-305-3535 E-mail : t-hojo18@tohtech.ac.jp

## 2024年度 日本水環境学会関東支部イベント 水環境分野で活躍する仲間たちの 仕事や働きぶり紹介

水環境分野には様々な仕事があり, 男女共に活躍している職場があります。本イベントでは, 例年関東の水関連企業等を順に紹介しています。今年度は水関連分野の各業種 (研究機関, 国際協力, 水インフラシステム, 水コンサル, 県行政, ウォーターエバンジェリスト) で働いている方々に, 仕事内容や仕事と私生活のバランス等について話していただき, 対話・交流するイベントを開催いたします。学生さんの将来の進路選択の一助となることを期待します。

**主 催** 日本水環境学会関東支部

**日 時** 2025年1月31日(金) 14:30~16:30

**場 所** オンライン (Zoom)

**プログラム**

14:30 企画者からあいさつと主旨説明

14:35 仕事や働きぶり紹介

- i) 主な仕事内容と仕事を選んだ理由
- ii) 仕事と私生活のバランス (1日のタイムスケジュール)
- iii) 働きやすい職場への取り組み等について (内容については, 変更の可能性あり)

〈講演者〉

- ①山梨県衛生環境研究所 長谷川 裕弥
- ②(独)国際協力機構 大塚 高弘
- ③(株)明電舎 宮原 盛雄
- ④いであ(株) 小池 瑛子
- ⑤埼玉県環境部 飯島 秀明
- ⑥Water-n 奥田 早希子

16:15 意見交換

16:30 終了

**申し込み方法** 下記の詳細 URL (関東支部ホームページ) から, お申し込みください。

**参加申込締切** 2025年1月27日(月)

**参加費** 無料

**詳細 URL** <https://jswe-kanto.blogspot.com/>

**その他** 1月28日(火)を目途に, 申込者に当日の Zoom アクセス URL とパスワードを連絡します。

**問い合わせ先**

関東支部市民活動部会長 猪又明子

E-mail : [info@jswe-kanto.com](mailto:info@jswe-kanto.com)

## 第30回 地下水・土壌汚染とその防止対策 に関する研究集会

本研究集会は地下水・土壌汚染の実態・原因・経路の調査から, 汚染物質の移動機構の解明, 汚染による影響やリスクの評価, 汚染の防止対策・修復技術・修復評価, 地下水等の自然由来の汚染や放射性物質による汚染, 地盤環境に係るカーボンニュートラル・生態系保全等に関する国内最大規模の研究発表会として, 地下水・土壌汚染問題の様々な課題について研究成果や事例発表, 意見交換, 技術交流, 情報収集, 人材育成や学習の場としての機能を果たして参りました。毎年, 100件程度の研究発表や特別講演, 企業展示などが行われ, 400名を超える方々のご参加をいただいております。

このたび第30回の研究集会を下記のとおり開催することとなりました。本会の土壌地下水汚染研究委員会も協力しています。多くの皆様に, ご発表やご参加をいただきますようご案内申し上げます。

**主 催** 地盤工学会, 日本地下水学会, 日本水環境学会, 廃棄物資源循環学会, 土壌環境センター

**期 日** 2025年6月25日(水), 26日(木)

**場 所** 京都大学 百周年時計台記念館 (京都市左京区吉田本町)

**内 容 (予定)**

口頭発表とポスター発表とを組み合わせた研究発表, 特別講演, 企業展示, 懇親会

**発表/参加申し込み方法**

土壌環境センターのホームページから必要事項を入力してお申し込みください。(http://www.gepc.or.jp/)

**発表申込締切** 2025年1月23日(木)

**事前参加申込締切** 2025年5月20日(火) (予定)

**参加費** 一般: 12,000円 (15,000円)

学生: 4,000円 (5,000円)

※括弧内は当日受付の場合

**詳細 URL** <http://gepc.or.jp/kenkyu/30th/>

**問い合わせ先**

第30回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会事務局 担当: 木下 (kinoshita@gepc.or.jp)

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 KSビル3階  
(一社) 土壌環境センター内

Tel : 03-5215-5955 Fax : 03-5215-5954

※内容は変更になることもありますので, 土壌環境センターの HP で必ずご確認ください。

## IWA 関連行事

10<sup>th</sup> IWA-ASPIRE Conference

期日：2025年10月20日(月)～24日(金)

場所：オークランド，ニュージーランド

詳細 URL：https://www.iwaaspire2025.org/

10<sup>th</sup> IWA-ASPIRE Conference での  
研究発表に対する渡航費用助成対象者の募集

本学会では、京都会議記念基金をもとに、2025年10月にニュージーランドのオークランドで開催される10<sup>th</sup> IWA-ASPIRE Conferenceでの研究発表予定者に対して、会議に参加するための費用を助成します。地方の試験研究機関の会員や若手研究者など、これまで海外での学会への参加が難しかった方々に、是非ともご応募いただき、優秀な研究成果を数多く発表していただきたいと考えています。助成対象となった方には、会議参加後に参加報告書(学会誌に掲載されます)を提出していただきます。

## 〈募集の手引き〉

**応募資格** 本会の正会員で、IWA-ASPIRE Conferenceで研究発表(口頭発表、ポスター発表)を予定する者。発表申込・参加申込等の手続きは本人が行ってください。

**助成内容** 会議参加登録費・会議参加のための渡航費および滞在費(全額または一部、ただし、過大な費用とならないこと)

**応募方法** 助成を希望する本人が、次項の書類を提出してください(E-mail添付可)。受領の連絡が2日以内でない場合には学会事務局へ連絡してください。

## 提出書類(書式は自由)

- ①応募者の氏名、所属、役職、住所、Tel、Fax、E-mail、本学会での活動内容(年会、シンポジウム、WET、研究委員会、支部等)
- ②本助成を必要とする理由
- ③発表予定の研究内容が判る資料(日本語可)
- ④本渡航費用助成への過去における応募状況
- ⑤発表採択通知

**提出期限** 2025年3月23日(日)

**採否通知** 選考結果については、2025年5月までに応募者に通知します。

**詳細 URL** https://www.jswe.or.jp/pdf/kyoto-F2025.pdf

**提出先** 〒135-0006 江東区常盤2-9-7  
グリーンプラザ深川常盤201号  
(公社)日本水環境学会 派遣・招聘委員会  
E-mail: kokusai@jswe.or.jp (@は半角)

## おしらせ

2024年度「論文賞」および「論文奨励賞」の  
受賞候補者の募集について

これらの賞の選考については、論文賞および論文奨励賞選考委員会に対し、会員による推薦制度を設けております。下記のとおり、会員各位からのご推薦を期待しています。詳細につきましては、学会事務局までお問い合わせください。

## 1. 応募要件

## 〈論文賞〉

水環境分野における学術・技術的に優れた一連の研究に基づく論文を発表した会員個人に対して贈られます。

- 1) 被推薦資格：本会の会員にして、受賞年度(2024年度)の4月1日現在において満40歳以上の者
- 2) 対象論文：下記、2. 対象論文掲載誌に掲載された2024年12月までの3年間に公表された審査付論文とする。

## 〈論文奨励賞〉

水環境に関する研究が独創的であり、将来を期待される会員個人に対して贈られます。

- 1) 被推薦資格：本会の会員にして、受賞年度(2024年度)の4月1日現在において満40歳未満の者
- 2) 対象論文：下記、2. 対象論文掲載誌に掲載された2024年12月までの2年間に公表された審査付論文とする。

## 2. 対象論文掲載誌

本学会誌(水環境学会誌, Journal of Water and Environment Technology), 国際水協会会誌(Water Research, Water Research X, AQUA, Water Science and Technology, Water Supply, Journal of Hydroinformatics, Journal of Water and Health, Journal of Water and Climate Change, Water Reuse, Journal of Water Sanitation and Hygiene for Development, Hydrology Research, Water Practice and Technology, Water Policy, Water Quality Research Journal, Water Resources and Economics, Water Resources and Industry, H<sub>2</sub>Open Journal, Blue-Green Systems)

3. 提出書類 ①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②論文名、掲載雑誌名(巻号、ページ数を含む)、③推薦理由書(1,000字以内)、④参考資料等、⑤推薦者の氏名、住所、所属(すべての提出書類の書式は自由です)

4. 提出期限 2025年2月7日(金)

5. 詳細 URL https://www.jswe.or.jp/awards/ronbun/index.html

6. 提出先 〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7  
グリーンプラザ深川常盤201号  
(公社)日本水環境学会「論文賞および論文奨励賞」係

E-mail : award @ jswe.or.jp (@は半角)

**第44巻(A)11号(2021)特集企画編  
「COVID-19タスクフォースの活動成果と  
産学官での社会実装に向けた動き」  
別刷配布のお知らせ**

この度、第44巻(A)11号(2021)の特集企画編「COVID-19タスクフォースの活動成果と産学官での社会実装に向けた動き」の別刷を作成しました。当該企画の趣旨を踏まえて、さらに広くご活用いただくために、教育・公益的な目的でのご利用を希望する方へ別刷を無償配布いたします。

別刷をご希望の方は①会員番号(非会員の方は非会員とご記入ください)②所属③氏名④送付先住所⑤使用目的(具体的に)⑥希望部数を明記のうえ、日本水環境学会事務局まで電子メール(kikaku @ jswe.or.jp (@は半角))にてお申込みください。先着順に受け付けます。なお、今後PDF版の公開も予定しています。詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

会員は、特集企画編「COVID-19タスクフォース設立と水環境分野におけるコロナ禍対策」(第43巻(A)12号(2020)特集)、「地環研の躍動」(第43巻(A)2号(2020)特集)、「水環境分野で働く若手たち」(第41巻(A)3号(2018)特集)、「水環境分野で働く女性たち」(第36巻(A)10号(2013)特集)にも残部(若干数)がありますので、ご希望があればご連絡ください。

**JST 日米豪印4カ国共同研究プログラム  
「AI-ENGAGE」の公募案内**

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)では、米国国立科学財団(NSF)、オーストラリア連邦科学産業研究機構(CSIRO)、インド農業研究委員会(ICAR)の3機関と協力し、日米豪印4カ国の研究者間での「新興技術(Advancing Innovations)×農業」分野の国際共同研究を支援することになりました。このたび、AI-ENGAGE(正式名称:Advancing Innovations for Empowering NextGen AGriculturE)に関する共同研究課題を公募いたします。詳しくは詳細情報をご覧ください。

**詳細情報** [https://www.jst.go.jp/moonshot/ai-engage/a\\_koubo/202409/index.html](https://www.jst.go.jp/moonshot/ai-engage/a_koubo/202409/index.html)

**問い合わせ先**

(国研)科学技術振興機構  
ムーンショット型研究開発事業部  
AI-ENGAGE 担当  
E-mail : ai-engage@jst.go.jp  
※件名に【2024 公募】と明記してください。

**JST 2025年度 先端国際共同研究推進事業  
(ASPIRE) 単独公募の予告について**

科学技術振興機構(JST)では下記の通り、先端国際共同研究推進事業(ASPIRE)において2025年度単独公募の研究提案募集を行う予定です。詳しくは詳細情報をご覧ください。

**詳細情報** <https://www.jst.go.jp/aspire/>

**問い合わせ先**

国際部 先端国際共同研究推進室 ASPIRE グループ  
E-mail : aspire@jst.go.jp

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム(J-STAGE)」に掲載しています。<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>